

令和5年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
77	福島県立小高産業技術高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像
工業科 機械科	25% 程度	本校では、これからの産業界で必要とされる確かな知識、技術・技能や豊かな人間性を身に付けた地域社会に貢献できる人材を育成することを目標としており、次のような生徒を求めている。
工業科 電気科	25% 程度	A型（専門教育に対する意欲） 工業又は商業の学習に対する興味・関心が高く、以下に示す工業や商業の国家資格取得や検定試験の合格を目指す者、または、学業成績に優れ、工業又は商業の専門分野における大学等への進学を目指すなど、意欲的に学習する者。
工業科 産業革新科 環境化学コース	25% 程度	工業系：下記の国家資格6つ以上の取得（詳細は各資格のWebサイトを参照） 各種技能検定、危険物取扱者（甲種、乙種（第1類、第2類、第3類、第4類、第5類、第6類）、丙種） 電気工事士（第一種、第二種）、第三種電気主任技術者、工事担任者 計算技術検定1級、情報技術検定1級、パソコン利用技術検定1級 商業系：下記の検定試験1級3種目以上の取得（詳細は全国商業高等学校協会等のWebサイトを参照） 簿記実務検定、商業経済検定、ビジネス計算実務検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、英語検定 ファイナンシャル・プランニング技能検定、リテールマーケティング（販売士）検定
工業科 産業革新科 電子制御コース	25% 程度	共通：ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者
商業科 産業革新科 ICTコース	25% 程度	B型（部活動） 中学校において、特設を含む運動部で顕著な実績又は高い能力を有し、入学後も部活動（他種目でも可）を継続しながら学習との両立を目指し、各学科における知識と技術・技能の習得に意欲的に取り組む者。
商業科 産業革新科 経済・金融コース	25% 程度	部活動：野球（男）、バスケットボール、陸上競技、バレーボール、サッカー（男）、ソフトテニス、バドミントン 剣道、卓球
商業科 流通ビジネス科	25% 程度	

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
77	福島県立小高産業技術高等学校	全日制

選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 250点満点とする。	本校・当該学科を志願する動機や理由、将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと、部活動又は資格取得等に対する意欲などについて本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は85点満点として、合計220点満点とする。	個人面接を実施する。個人面接では、本校で学ぶ意欲や部活動又は資格取得等に対する意欲をみるとともに自身の考えを適切に伝える表現力をみる。 面接については点数化し、30点満点とする。	実施しない。	全体の満点は500点とする。	年齢20歳以上の志願者については、調査書の提出を免除する。

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
77	福島県立小高産業技術高等学校	全日制

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
工業科 機械科	(40)	5教科とする。 250点満点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	集団面接を実施する。 志願者の適性と目的意識を確認するとともに、表現力についてみる。 面接については、段階評価する。	同等とする。	年齢20歳以上の志願者については、調査書の提出を免除する。
工業科 電気科	(40)					
工業科 産業革新科 環境化学コース	(20)					
工業科 産業革新科 電子制御コース	(20)					
商業科 産業革新科 ICTコース	(20)					
商業科 産業革新科 経済・金融コース	(20)					
商業科 流通ビジネス科	(40)					

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
77	福島県立小高産業技術高等学校	全日制

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
工業科 機械科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、数学、英語）を含む。 面接については段階評価する。	作文を実施する。 あるテーマについて、400～500字で自分の意見等をまとめる作文とする。 作文については点数化し、20点満点とする。	年齢20歳以上の志願者については、調査書の提出を免除する。
工業科 電気科				
工業科 産業革新科 環境化学コース				
工業科 産業革新科 電子制御コース				
商業科 産業革新科 ICTコース				
商業科 産業革新科 経済・金融コース				
商業科 流通ビジネス科				